

ゆかりホームクリニック

椎名裕樹

副院長



043-310-3262

yukari-home.com

千葉県千葉市花見川区幕張本郷
1-27-10 wingビル1階

ビジョン

「住み慣れた場所で自分らしく生きたい」という願いを私たちと一緒に叶えていきませんか。地域医療を支える仲間（医師・スタッフ）を募集しております。

千葉市・八千代市・習志野市を中心に訪問診療を行う、医療法人社団 真 ゆかりホームクリニック。副院長の椎名裕樹先生は、呼吸器外科医として経験を積んだのち、患者さん一人ひとりの人生に深く寄り添う医療を求めて在宅医療の道へ進みました。現在は、がん末期をはじめとする重症度の高い患者さんへの緩和ケアや在宅での看取りに力を注ぎ、患者さんとご家族が最期まで自分らしく過ごせるよう支えています。椎名裕樹副院長に、外科医から在宅医療へ至った経緯、看取りを支える対話の姿勢、緩和医療学会認定連携施設としての役割、そして地域医療への想いについて伺いました(2026年5月取材)。

在宅特化の緩和医療学会認定連携施設で学ぶ、緩和ケア専門医への道

当クリニックは「日本緩和医療学会認定の連携施設」に認定されています。ここで研修を受けるメリットは何でしょうか。

現在、千葉県内には緩和医療学会の基幹施設が7件、連携施設が10件設定されています。当院で研修を受けることで、日本緩和医療学会専門医の認定試験の受験資格を得られることが大きなメリットです。他の連携施設は緩和ケア病棟を持つ病院が中心であり、当院のように在宅医療に特化している施設は千葉県内で3件ほどしかありません。



当院はがんの患者さんをはじめとした重症患者さんの割合が多いため、在宅での緩和ケアを中心に専門医を目指す上で、非常に多くの症例数を積むことができる点が最大の強みです。

研修の具体的なプログラムや期間について教えてください。

院長や副院長である私にマンツーマンで帯同し、段階的に担当範囲を広げていくプログラムです。緩和ケアの実践をはじめとして、在宅医療ならではの緩和、そして在宅での看取りの作法に至るまで、非常に幅広い学問や領域を実践的に学ぶことができます。

専門医を取りたい方に当院へ来ていただき、2年間ほど勤めながら現場で経験を積んでいただく形になります。この2年間の研修期間を終えると、専門医の認定試験の受験資格を得ることができます。

2年間の研修を通じて、医師としてどのように成長できるのでしょうか。

現在、当院では約200名の患者さんへ訪問診療を行っていますが、そのうち5割超が、がん末期をはじめとした重症度の高い方々です。これだけ多くの実践的な症例を積むことができる環境だからこそ、研修を終える頃には、在宅緩和ケアにおいて自信を持って診療できるレベルに確実に到達できるはず。とはいえ、在宅医療の現場では医師が1人になるシチュエーシ



ョンが多いため、最初は不安を感じる場面もあるかもしれません。実は私自身も最初はそうでした。現場から院長に毎回電話で質問し、その都度アドバイスをもらいながら経験を積んできた経緯があります。だからこそ実感しているのは、遠慮せずにたくさん質問し、豊富なフィードバックを受けることこそが成長への一番の近道だということです。

当院には経験豊かな医師がそろっており、いつでも手厚いサポートを受けられる環境がしっかりと整っていますので、安心して飛び込んできてほしいですね。

どのような経験を持つ方に仲間になってほしいとお考えですか。

在宅医療や緩和ケアに対して「真剣にのめり込みたい」「ちゃんとやりたい」という強い想いを持っている気骨のある方であれば大歓迎です。私自身が外科医時代に培った穿刺（せんし）などの手技やがん診療の経験が今大いに役立っているように、今まで歩んできた医師としての経歴や経験を活かしやすい分野でもあります。どのような経歴の方でも、これまで集めてきたスキルで必ず活躍できます。

エントリーにつきましては、当クリニックのホームページにある「お問い合わせページ」から直接ご連絡いただくのが一番スムーズですので、ぜひご確認いただきご応募をお待ちしております。



看取り・緩和ケアを地域で支えるために千葉市・八千代市・習志野市の在宅医療の未来

在宅医療や緩和ケアの現場で、現在感じている課題はありますか。

病院間の連携や、多職種間の連携をさらに強化していく必要性を感じています。緩和ケアという性質上、患者さんの病状の変化を探ることや、使用するお薬・物品一つひとつをとっても、非常に繊細な申し送りが求められます。しかし、お互いに時間的な制限がある中で、その必要性が十分に浸透しきれていない部分も課題です。

解決策として特別な魔法があるわけではなく、私たちにできる

のは、ただただ真摯に一つひとつの連携に向き合っていくことだと思っています。地道なことですが、そうした私たちの思いに気づいて連携してくださる時は、本当に嬉しいですね。

今後のクリニックの展望として、1年後や5年後の姿をどのように描いていますか。

直近の1年後としては、まず同じ思いを持って一緒に緩和ケアを頑張ってくれる「仲間（医師）」を増やしたいですね。そして5年後も変わらず、千葉市・八千代市・習志野市を中心としたこの地域において、患者さんやご家族が「最後まで安心して頼れる存在」であり続けたいと思っています。

私たちが大切にしているのは、事業を広く展開していくことよりも、目の前の患者さんお一人おひとりにしっかりと向き合い続けることです。そのため、サテライト展開などでむやみに規模を拡大するのではなく、今あるこの場所で地域に根ざした医療を深めていきたいと考えています…



続きはQRコードからアクセスしてください → → →

